

議会だより

おおひそ

第184号

2016年（平成28年）10月27日発行

9月定例会

- 平成27年度決算を認定 2～7
- 補正予算を可決 8～9
- 10人が一般質問 11～16
- 題字デザインが決定 17
- 表紙写真を募集 17



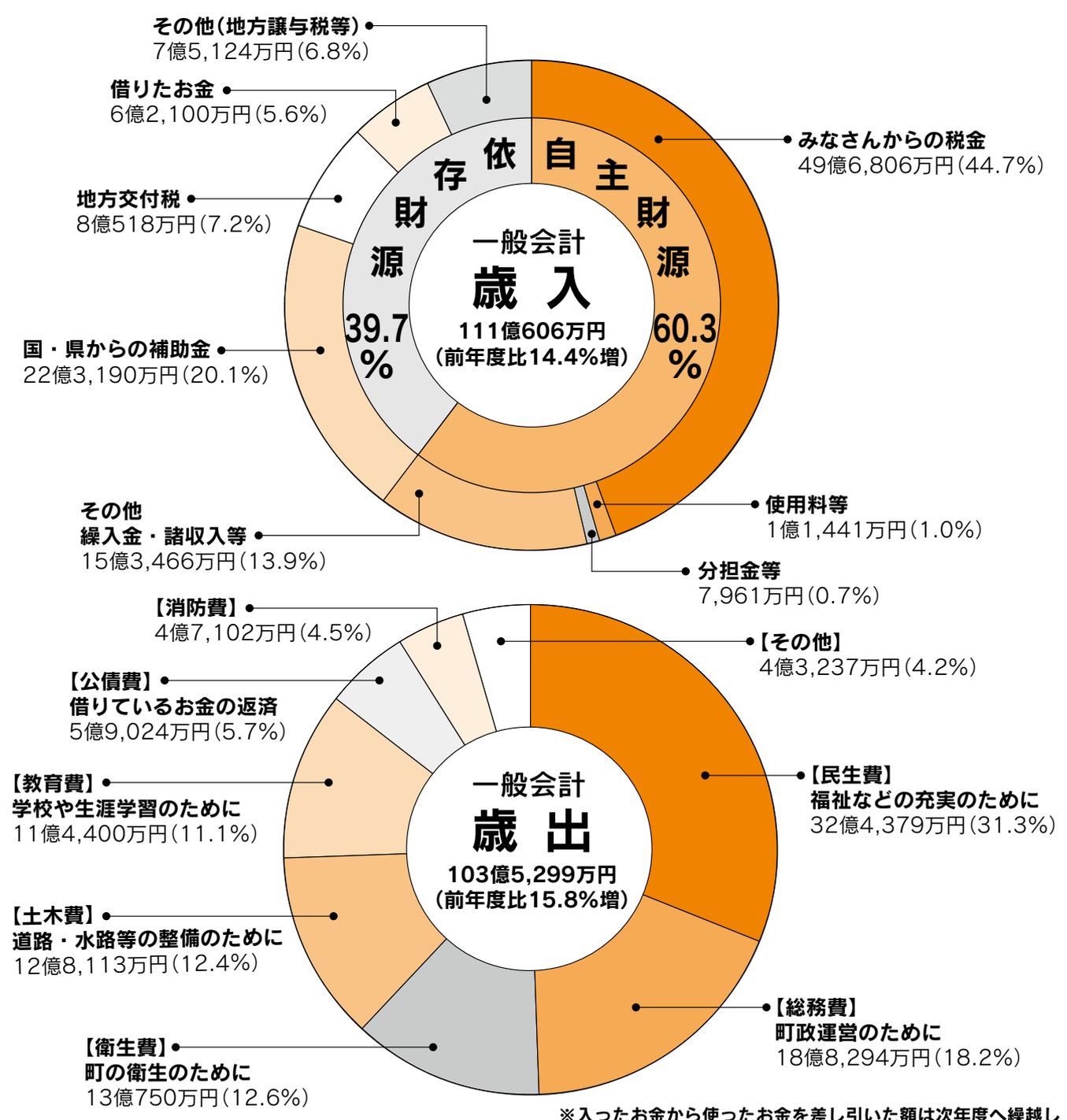
9月定例会は9月1日から30日までの30日間の会期で開きました。

本会議初日の9月1日は、継続費の精算、財政状況の報告、損害賠償に係わる専決処分、人事案件2件、平成28年度補正予算など5議案を原案どおり可決しました。

また、平成27年度決算は決算特別委員会を設置し、4日間にわたり審査を行った結果、全会計を賛成多数で認定し、最終日の9月30日に本会議場においても賛成多数で可決しました。

一般質問では、10人が町長や教育長に行政事務についてたずねました。

平成27年度決算 一般会計 100億円を超える



平成27年度 各会計決算の状況

会計別	歳入	前年度比	歳出	前年度比
一般会計	111億 606万円	14.4%増	103億 5,299万円	15.8%増
国民健康保険事業特別会計	46億 7,100万円	10.5%増	44億 5,674万円	8.0%増
後期高齢者医療特別会計	8億 499万円	4.4%増	7億 6,656万円	3.7%増
介護保険事業特別会計	28億 3,530万円	4.3%増	27億 5,912万円	3.6%増
下水道事業特別会計	14億 7,618万円	4.0%減	14億 848万円	6.7%減

※1万円未満は、四捨五入



決算特別委員会での審査結果を報告する関委員長

町の財政状況は良好

町は、健全化判断比率及び資金不足比率について監査委員の審査に付し、結果を議会に報告、公表しなければなりません。
監査委員の審査結果意見書では、いずれの指標においても早期健全化基準を下回り、町財政は良好な状態であるとの結果が出された。

議場での討論

一般会計

反対

【鈴木京子議員】

平成27年度決算の特徴は多額の不用額が出たこと。主な理由として、焼却場解体費用の変更があげられたが認められない。
【渡辺順子議員】
当初予算に計上されなかった事業の修正予算、工事請負契約の変更が目立った。事業が計画的に行われたか、疑問に思う。町を観光立町にしたいなら、事業の抜本的な見直しが必要。観光を定住に結びつける町の方針に無理がある。

【柴崎 茂議員】

若い人たちが減っているにもかかわらず、高齢者が増えていると言いつ、火葬料の補助金を減らしている。間違った認識での減額は理解できない。

賛成

【竹内恵美子議員】

実質収支額は大きくプラスとなった。財政力指数は0.02ポイント下回ったが、経常収支比率は、2.3ポイント低下しており、実質公債比率も1.1ポイント下がった。

町長2期目の初年度、

特別会計

反対

【鈴木京子議員】

一般会計と連携した低所得者対策がとられていない。国保税は子どもの均等割を無くすべき。介護保険は、町内の特養の空きベッドが解消できていない。
必要ない相模川を横断する下水道管敷設の建設負担金を支払った。

【渡辺順子議員】

健康、子育て、観光に重点を置いた施策を各事業の必然性や優先度を考慮して限られた財源を有効に活用している。

賛成

【竹内恵美子議員】

決算特別委員会での質疑応答等を聞いた中で、適正な執行がされていたと判断する。

現地確認を実施

平成27年度決算の審査にあたり、4カ所の現地を確認し、所管課からの説明を受け、審査の参考とした。

①目的 ②工事費(平成27年度)



大磯小学校グラウンド

①安全で快適な学習環境の整備

②43,102,800円



高麗公衆トイレ

①町民・来訪者の散策・周遊環境の整備

②5,754,400円



町屋公園トイレ

①町民・来訪者の快適な公園環境の整備

②7,311,600円



いくさわ西の池跡公園トイレ

①町民・来訪者の快適な公園環境の整備

②12,128,400円

観光振興対策事業

目的

観光客の増加
観光行政の推進

内容

- 観光協会や関係団体、周辺自治体と連携したPR活動を行う。
- 観光協会等が実施する事業の支援を行う。

評価結果

抜本的な見直しのうえ継続

理由・意見

- 現在の観光協会の事業内容では費用対効果が小さい。
- 観光客を増やすため、ニーズを把握し、町と観光協会が一体となり観光事業を行う必要がある。
- 観光協会は公益社団法人であるので、自立した事業展開を行うべきである。

事務事業評価とは
平成25年度決算の審査から、決算審査の一環として、議会による事務事業評価を実施している。町が実施する事業を、議会の異なる視点で多面的に評価することで、問題を明らかにし、今後の事務事業の改善につな

げ、さらに次年度予算へ向け検証するよう求めるもの。
今年度は、「観光振興対策事業」について実施委員の評価をとりまとめ、「抜本的な見直しのうえ継続」と決定し、9月30日に議長から町長への評価結果を提出した。

議会による事務事業評価を実施 観光ニーズの把握を



大磯町観光協会

3 議員が総括質疑

【文責は本人】

事業の変更が多すぎる

渡辺 順子

問 駅前自転車駐輪場建設は、駅前全体構想の中で、配置や規模を決めるべきとの提案が多い中、建設在りきで進められた。さらに、建設費3億8千万円は後からの追加工事で5億円近くになった。

町長 平成26年12月に議決、平成27年6月に5億円の予算範囲で変更した。町民の代表である議会で議決し広報に掲載。説明責任は果たしている。

問 予算範囲の5億円で

収まっているのは不思議。旧駐輪場の解体費用1億400万円をA案だけに上乗せしたのもおかしい。計画変更が多すぎる。

また、中学校給食を年度途中で始めたが、大きな事業を補正予算で対応するのは反省すべきだ。

町長 後から安全性を指摘されたら変更せざるを得ない。

計画的、経済的に執行したか

柴崎 茂

問 監査委員の意見書によれば、「個々の歳出は、審査等を通じて、平成27年度も行政目的達成のために計画的かつ経済的に執行し、処理されたものと認められた。今後引き続き、最小の経費で最

大の効果を上げる行財政運営に取り組まれない」とある。これは事実といえるか。また、交流人口の増加と定住人口の安定化を目標に観光事業を進めてきたが、町債だけが増えて人口が増えなければ

ば議会も同罪になる。全体としての歳出削減で、なぜ、住民の将来負担を減らそうとしないのか。

町長 限られた自主財源と国庫・県支出金を確保し、計画的、経済的に事業を執行してきたものと認識している。町債残高は次世代に過度の負担を残すことが無いよう徐々に減らしていきたい。

特別会計の法定繰出額は

鈴木 京子

問 特別会計への繰出金が多いと、いつも話題になる。平成27年度の総額は17億4千615万円だが、法定繰出額を特別会計ごとに説明を求め。

町長 国民健康保険事業には1億4千781万7千円、

後期高齢者医療へは3億5千982万8千182円で全額、介護保険事業も全額で4億2千867万7千70円。下水道事業は法定繰出額ではないが、地方公営事業の基準額は3億2千277万余円となる。

問 町長の卓話集会などで、財政難の理由に特別会計の繰出額が多いと説明している。

特別会計の繰出しは減らせない。繰出金をなくすには国の法律を変えるしかない。また、国の肩代わり借金もあるが、住民に説明しているのか。

町長 そういう意味合いで言っている。

監査委員の指摘

代表監査委員 高野澤 均
議会選出監査委員 高橋 英俊

平成27年の65歳以上人口比率は31.3%に達している。人口減少・生産年齢人口の減少に伴い、個人町民税は平成27年決算額の約24.8億円から、20年後の平成47年には17.6億円になると推計された。

「定住促進」を掲げ、また、行政経営プランを策定した。計画の実行性を担保する為には、各計画の着実な推進が重要であり、適切な進捗管理のもと、事務事業の効率化、見直しを進めていただきたい。

適切な予算編成と適正確実な予算執行が不可欠である。

職員の年齢構造にひずみがある町組織において、人材育成を進め行政効果を発揮できる組織づくりを行い、地域の課題を町民等と共有し、住みよい大磯を目指したまちづくりが実行されることを期待する。

決算審査 こんな質疑がありました

決算特別委員会では、平成27年度予算施政方針に基づき「健康」「子育て」「観光」「定住」に力点を置いた、人口減少社会に立ち向かう「未来」を見据えたまちづくりが行われたかを中心に審査を行った。



運動公園の管理状況

町税徴収事務

問 町税徴収について、差し押さえの内容は。

答 預貯金48件、給料4件、生命保険28件、不動産12件、その他7件計99件の差し押さえを行った。不動産についてはまだ公売はしていない。

大磯運動公園の指定管理

問 公園内の草木や雑草の管理ができていないと感じるが、管理方法などの指導は行っているか。

答 指定管理者とは月1回程度、連絡調整会議を設けているのでその際に指導していく。

防災備蓄品

問 食料・資機材の備蓄状況は。

答 防災備蓄品として、各避難所収容人数の1日分3食の食料等を備蓄。スタンドパイプセット、給水栓を購入し地区に配布した。



消防団員によるスタンドパイプの訓練

下水道の接続

問 下水道接続率が75.9%だが接続している方としていない方の不公平をどう平準化するのか。

答 供用開始から3年間は補助制度がある。広報等での周知や個別訪問することで接続が普及されるよう努力していく。

本庁舎建設基金は

問 本庁舎建設基金をどのように捉えているか。

答 これからの大磯町にとって一番必要な基金と考える。今後、財源のやりくりをどうしていくか考えていく。

海水浴場

問 海水浴場の入場者数が減少している。入場者数を増やすためには、歴史を感じさせる雰囲気づくりが必要と考えるが。

答 今後は、砂浜の広さなど与えられた環境をうまく利用して、多くの人に訪れてもらうための策を考えていきたい。

特別職給与

問 平成26年度と平成27年度を比較すると特別職給与に大分開きがあるのはなぜか。

答 年度途中で町長と副町長の給与半額を取りやめ満額支給に戻したためその分増えている。

地域再生事業

問 どのような事業を行ったのか。

答 「いろいろおおい」で活動するカラフルが、多様な知識や体験の提供、住民の活動発表、新たなつながりやビジネスの創出を目的とした事業、住民の暮らしをサポートする相談事業、町内の団体と連携した事業など合計36事業を行った。



カラフルも始めたカフェ

ふれあい会館

問 老朽化により今後とも修繕が必要になるのか。

答 今年度も修繕を予定している。緊急性を判断し、対応を行っていく。

大磯港駐車場

問 圏央道の開通等により、駐車場の利用台数が増加している。大磯港はみなとオアシスの重要な拠点となるが拡幅計画はあるか。

答 拡幅は難しいが、西湘バイパス下駐車場は老朽化も進んでいるため、国交省にメンテナンスや整備等を要望していきたい。

決算規模の拡大

問 町税収入は減少、町債残高は増えているのに、決算規模が拡大している。平成29年度予算は縮小してほしいが。

答 平成26年度事業の一部を繰越したことが決算が上がった要因の一つである。右肩上がりの予算ではよくないことは承知している。平成29年度まで継続費として予算を組んでいる事業があるので、その部分は伸びてしまう。

子育て支援総合センター

問 東部地区に子育て支援センターを開設する考えは。

答 東部にも子育て支援総合センターにかわる施設が欲しいとの要望があり、現在は生涯学習館等で「東部つどいの広場」として暫定的に対応している。現在開設に向け検討を行っている。



イクメン講座の様子

子ども・子育て支援事業

問 新制度開始から1年経ったが、課題はあるか。

答 保護者にまだ制度が浸透していないところがあり、周知が必要と考えている。

町民活動推進補助金

問 不用額が大きくなった原因は。

答 6団体から申請があったが1団体が途中辞退、2団体が審査会で不採用となり不用額となった。

生涯学習推進事業

問 各種講座の参加人数に対する費用対効果はどうか。

答 集客人数は目標数に近い集客で、企画の目的は達せられたと考える。学習の内容を数値化して評価することは難しいところである。

国保・後期高齢者医療

問 医療費が伸びている。透析にならないよう指導することが、国保会計や後期高齢者医療にとって一番効果的と考えるが。

答 40歳以上の方を対象に特定健診を実施。また、健診結果説明会を設け、生活改善を始めよう伝えている。

成人式

問 近年の成人式は私語が多く、形骸化しているように感じる。成人

としての自立性や自主性を高められるよう、全体の企画・運営を実行委員会で行ってみたいかどうか。

答 新成人の方も多忙であり、期間が短い中で全てを任せるのには懸念がある。新成人になる前の高校生や大学生に式の様子を見てもらい、まずは自分たちの成人式について考えてもらいたい。



今年の成人式の様子

決算特別委員会での討論

一般会計

反対

【柴崎 茂委員】

予算の執行状況や結果を見ても、監査委員が言うように計画的で経済的だと微塵も感じられない。

【玉虫志保実委員】

町が何もしていないとは考えていない。ただ方向が少し違うと感じる。誰のための事業かという点が一番欠けている。

【鈴木京子委員】

リサイクルセンターは過大施設である。中学校給食導入は拙速、マリア道整備、旧吉田茂邸再建等も認められない。

特別会計

反対

【鈴木京子委員】

国保会計は特定健診とおあしすの連携が不十分、後期高齢者医療は制度そのものが認められない。下水道は低所得者対策がとられていない。

賛成

【片野哲生委員】

独立採算制の原則に沿った事業運営に努力を。そのためには徴収率向上が大原則である。

賛成

【片野哲生委員】

実質収支額が増で黒字決算となり、財政の改善が見られた。

【清田文雄委員】

事業の必然性や優先度を考慮し財源を有効活用している。

【奥津勝子委員】

依存財源を最大限に活用し事業展開した。継続事業も順調に進んでいる。

【三澤龍夫委員】

新たな事業が整合性をとって行われている。

決算特別委員会

委員長 関 威 子
副委員長 鈴木 京子
委員 三澤 龍夫
奥津 勝子
清田 文雄
玉虫 志保実
片野 哲生
柴崎 茂

平成28年度9月 補正予算を可決

一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額に6億4千59万3千円を追加し、予算の総額を108億2千493万1千円とするもの。
審議では、さまざまな事業に対する質疑が、活発に行われた。

本庁舎建設基金・公共施設整備基金に1億円

平成12年に本庁舎建設基金条例が施行され、毎年1億円を積み立てることになってきたが、平成27年末で1億2千700万円ほどしかない状況である。

今回の1億円の積み立ては、前年度の繰越金の状況により補正予算となった。

また、公共施設改修等のため公共施設整備基金へも1億円を積み立てる。

旧自転車駐車場

解体

自転車駐車場の完成が遅れたため、解体設計も遅れた。解体設計の結果が出たのが平成28年3月で、解体設計を基に工事を算定し、補正予算となった。解体工事は平成28年度中に終了予定。

駅前であり、慎重に工事を行うため高めと

いうが、解体金額1平米

4万4千円の妥当性は

どう判断すればよいか。

計上金額では、平米

当たり4万円。若干高

めという認識だが、近

隣商店等々、非常に近

接した状態で建物が

建っている。また、地

下構造ありの建物のため、

ほかに影響が出ない

ように作業する関係

でこのくらいの金額が必要となる。

地方創生加速化交付金

地方創生加速化交付金の採択を見込み、6月補正予算で計上したが、一部不採択となったため、当初予算の財源に戻す形で、旧吉田茂邸整備活性化基金から2千811万2千円を繰り入れる。

不採択になったからといって基金を取り崩すのはおかしい。

旧吉田茂邸

地方創生加速化交付金の減により中止になった事業は、観光客の呼び込みに影響はないのか。

今回減額補正し、平成28年度に執行しない事業は、図書等印刷費の追加分、ユニフォーム作成費と公衆無線LAN整備費の3つ。平成29年度予算の編成の中で、最重要課題と捉え整備を進めたい。

地方創生加速化交付金の条件に予算計上していることがある。採択されなかった理由について検証することで、今後新たな事業において交付金を受けられるよう進めていきたい。

オープニングセレモニー開催とあるが、どのような位置づけ、目的で持っていくのか。

大磯町民の方に一番来て欲しいという思いはあるが、セレモニー自体は限定的な人数となる。旧吉田茂邸にゆかりのある方、保存から再建に至るまで尽力された方、国レベルの方も招待したいと考えている。

本庁舎は築45年が経過している。新庁舎の建設について具体的に決まっていないが、時間も費用も必要になる。喫緊に検討する必要がある。将来を見据えて積み立てていかなければならないと認識している。



築45年が経過した役場本庁舎

平成28年度 一般会計補正予算(第2号)の主な内容

歳入	
国民健康保険事業特別会計繰入金	1億1,140万円
介護保険事業特別会計繰入金	2,734万円
下水道事業特別会計繰入金	4,685万円
旧吉田茂邸整備活性化等基金繰入金	2,811万円
前年度繰越金	4億3,427万円
歳出	
公共施設整備基金	1億円
本庁舎建設基金	1億円
自転車駐車場解体	4,192万円

※1万円未満は、四捨五入

平成28年度 各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算
一般会計(第2号)	108億2,493万円 (6億4,059万円を追加補正)
国民健康保険事業特別会計(第1号)	47億4,844万円 (2億1,644万円を追加補正)
後期高齢者医療特別会計(第1号)	8億9,043万円 (3,843万円を追加補正)
介護保険事業特別会計(第1号)	30億4,573万円 (7,673万円を追加補正)
下水道事業特別会計(第1号)	18億985万円 (4,685万円を追加補正)

討論

一般会計

反対

【鈴木京子議員】

既存駐輪場を耐震工事ですれば使用できたはずである。解体費用は認められない。

地方創生加速化交付金の見込み違いで、議会は振り回された。

【柴崎 茂議員】

地方創生加速化交付金が見込み額より減となったために、6月の補正予算であげた事業を減額し、さらに旧吉田茂邸整備基金を取り崩す。町の財政体質はさらに借金体質を進める。このような考え方で編成されている補正予算に町民への効果はないと考える。

特別会計

反対

【鈴木京子議員】

国保税の見直しについて議論が進められているが、国保会計の財政調整基金へ5千万円を積み立てるより、子どもの均等割をなくしていくような財源に使うべきである。

職員の自動車事故に係る
専決処分

平成28年4月4日、職員が運転する公用車が国道1号下り線照ヶ崎海岸入口交差点手前で運転操作を誤り、歩道に設置されている横断防止柵等を破損。

賠償先 国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所
小田原出張所

賠償額 52万3千665円(自動車損害共済保険から支払)

一般会計継続費

2力年の事業が終了

事業名 (仮称) リサイクルセンター整備事業

・生活環境影響調査業務委託
支出額 972万円

委託先 国際航業(株)神奈川支店

・PFI等アドバイザリー業務委託
支出額 2千899万8千円

委託先 (株)日本総合研究所

次の方に決まりました

固定資産評価審査委員会委員に

駒木 稔 氏 (61歳・国府本郷)

人権擁護委員に

熊澤 貞夫 氏 (67歳・国府新宿)

議案に対する各議員の賛否一覧表

議案番号	議案	議員名（議席順）													結果	掲載ページ番号	
		坂田 よう子	竹内 恵美子	関 威國	三澤 龍夫	奥津 勝子	二宮 加寿子	清田 文雄	玉虫 志保美	片野 哲生	高橋 英俊	鈴木 京子	渡辺 順子	柴崎 茂			吉川 重雄
32	専決処分の承認を求めることについて （損害賠償の額を定めることについて）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決	9	
33	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決		
諮問5	人権擁護委員の候補者を推薦することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	異議ない 旨答申		
34	平成28年度大磯町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	●	—	可決	8 9	
35	平成28年度大磯町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決		
36	平成28年度大磯町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決		
37	平成28年度大磯町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決		
38	平成28年度大磯町下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決		
39	平成27年度大磯町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	●	—	可決	2 7
40	平成27年度大磯町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決		
41	平成27年度大磯町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決		
42	平成27年度大磯町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	可決		
43	平成27年度大磯町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	—	可決	

○は賛成 ●は反対 —は議長が賛否に加わっていない

みなさんの請願・陳情はこうなりました

番号	件名	提出者	要旨	付託委員会	委員会の意見・結果
第8号	HPVワクチン接種後の症状発症者に対する救済支援の陳情	全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会 神奈川県支部 代表 山田 真美子	HPVワクチン接種後の症状発症者に対し、健康被害救済手続きの簡略化や迅速な審査等の救済支援を行うよう、国に意見書の提出を求めるもの。	福祉文教	陳情項目が多岐にわたる。どれが効果的か研究しながら進めていくべき。 趣旨採択 (採択2、趣旨採択4)
第9号	HPVワクチン接種後症状に関する問題解決のための陳情	全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会 神奈川県支部 代表 山田 真美子	HPVワクチン接種者に対し、アンケートによる健康調査等を実施するよう、町に求めるもの。	福祉文教	町では接種した858名に問題が起きていない。欠席調査でも該当がない。 趣旨採択 (全員一致)
第10号	日米地位協定の抜本的改定を求める陳情	自主・平和・民主のための広範な国民連合 神奈川 代表 岩佐 晴夫	米軍関係者に様々な特権を与えている日米地位協定を抜本的に見直しするよう、国に意見書の提出を求めるもの。	—	机上配布
第11号	平成29年度における「重度障害者医療費助成制度」継続についての陳情	中郡腎友会 会長 城所 優子	平成29年度予算策定に際し、障がい児者・透析患者が負担なく医療が受けられるよう、制度の継続を求めるもの。	福祉文教	自立支援医療制度など、負担が過重とならない仕組みもある。 趣旨採択 (趣旨採択5、不採択1)

※趣旨採択：「願意は理解できるが、実現性の面で確信が持てない」といった場合に採られる決定の方法。

誰でも陳情書や請願（議員の紹介が必要）を議会に提出することができます。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。61-4100（内線281）※提出の締め切り（12月定例会分）11月18日（金）午後5時まで

町政のここが聞きたい

一般質問

一般質問は、9月12日・13日に10人の議員から20問ありました。

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

詳細は会議録・ホームページ・DVD（図書館貸出）をご利用ください。

【文責は本人】

大磯海岸の浸食対策は

国の保全対策と連携



清田文雄

問 平成19年の台風9号で、砂浜の浸食が激しくなり、現在も続いているが、対策はあるか。

町長 国の直轄事業として、西湘海岸保全対策事業が平成26年度から43年度の事業予定で始まった。

問 海岸の保全対策として、町が要望していることは。

答 町村会や広域行政推進協議会を通じて、海岸の整備促進、松の保全等の要望を行っている。

問 照ヶ崎、こゆるぎ海岸の保全は、町独自でやっているのか。

答 国や県と連携しながら保全対策を行っている。

問 国府新宿の海岸は、昨年の台風や低気圧接近の際の高波の影響で、砂浜が完全に流され危険な状態だが。

答 仮復旧は行われたが、本復旧に際し、地下道へのスロープ設置などが検討されており、漁協関係者と協議中と聞いている。

問 海岸浸食の影響で、太平洋岸自転車道の延伸計画のルートに危険はないか。

答 国府本郷から二宮まで27キロが国の直轄事業として事業化された。海岸保全対策の状況を判断し、国と協力し安全なルートを検討を進めていく。



砂浜が流失した国府海岸

赤字運営を危惧 再建・旧吉田茂邸

収支計画は算定中



関威國

問 再建事業費の総額は、**教育長** 5億4千195万円である。

問 入館料と入館者数の見込みは。

答 入館料は未定だが12月定例会に設置条例案を提出する。入館者数は年間3万人を見込む。

問 歳入と歳出の見込みは。赤字にはならないか。

答 収支は算定中。人件費を除く維持管理費は約1千万円程度を見込み、入館料、研修室等の使用料で賄いたい。当面は町直営で運営し将来的には民間活力を導入する。

問 赤字は財政再建の足を引く張るが対策は。

答 来客数を増やすのが一番の命題である。

問 旅行会社への営業活動やポスターの作成は。

答 入館料等が未定のためまだ行っていない。

問 大型バスの駐車スペースは2台分しかないが3台以上の対応は。

答 吉田邸で乗降し、町管理の港駐車場を案内。

問 昭和50年大平正芳首相とカーター米大統領による首脳会談の舞台となった楓の間等の復元は。

答 ソファセットをはじめ、銀の間のダブルベッドや食堂のテーブル等を復元し、吉田茂が生活していた時代を再現する。



来年4月公開の旧吉田茂邸

地域包括支援について

周知体制づくりに励む



奥津勝子

問 地域包括ケアシステムの取り組みは。

町長 第六期高齢者福祉計画に基づき、住み慣れた地域で生き生きと暮らせるよう医療、介護、住居、見守り、介護予防など、各分野の協力を得て地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいる。

問 在宅医療、介護連携の推進は。

中郡医師会や訪問看護連絡協議会で進めている。

問 認知症施策の推進は。

町長 早期発見に向け、ホームページで認知症簡易チェックのシステムを開発。また、認知症サポーター養成講座を、両中学

校生徒を対象に継続、希望者も受講していただく。「はいかいSOSネットワーク制度」も設け、成年後見制度普及啓発の講演会を開催している。

問 認知症の方と介護者が一緒に参加する場合は。

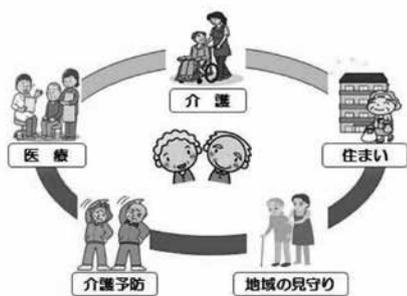
答 町にはないが、必要性は認識している。

問 地域ケア会議推進は。

答 リハビリなどの専門職も加え、高齢者、障がい者の個別ケースの検討や地域課題の抽出を月1回実施している。

問 生活支援サービスは。

答 地域支援コーディネーターを中心に来年度協議体を立ち上げる。



地域包括ケアシステムの構築

過去5年間の 卓話集会の成果は 互いに向き合う姿勢



玉虫志保実

問 1時間から2時間という短い時間の中で開催されてきた過去5年間の卓話集会は、その目的を果たしてきたか。

町長 膝を交えて話し合い解決していこうという姿勢が成果であり目的と考える。

問 町長に直訴できる場という点では「平成目安箱」も同じと考えるが。

町長 「平成目安箱」も「卓話集会」も、「町長に直訴できる場」というとらえ方ではない。町政運営を進めていく上で、皆さんからの意見を伺うという点で実施。手法は違

うが、目的は同じ。
問 参加人数が減少しているが。地区役員や町職員への負担ではないのか。

町長 累計3千721人が参加。増減はあるが、1回参加が、約20人。必ずしも減少していない。

負担はかけているが、区長さん方は「協働の町づくり」を進める熱い思いで時間を設定して下さい。職員は、人数を減らし、輪番制をとっている。

問 今後の卓話集会は。
町長 人の思いに十分配慮してこなかった面を反省し、続ける。町を預かる者の責任として必要なことは、きつくとも言う。

年度	テーマ
23	① 災害に強いコミュニティづくり ② ごみの減量化・資源化に向けて
24	① 5年後10年後の健康を考える ② みんなで考えよう～子育てしやすい町 大磯～
25	① 新たな観光の核づくりと旧吉田茂邸の再建に向けて ② インシデント被害対策 ③ みんなで子育て～大磯町の子ども・子育て支援の姿～
26	みんなで創る～地域の「話・輪・和」を目指して～
27	みんなで話そう！「暮らしのまちづくり」

卓話集会のテーマ

駅入口交差点の 横断歩道の設置は 手続きを進めている



高橋英俊

問 大磯町第10次交通安全計画の策定スケジュールは。

答 素案の策定中である。まとめり次第、関係諸団体に意見聴取し今年度中に策定する。

問 通学路の安全性についての要望は。

答 大磯、国府小学校PTAから教育委員会を通して要望をいただいている。短期的・中期的なものや複数の外部機関との協議が必要なものが、多額

予算が必要なものがある。
問 大磯駅入口交差点の横断歩道設置要望の内容は。

答 駅周辺の安全対策と

して、横断歩道を歩道橋下に新設、駅前交差点のスクランブル化、平塚方面から大型車両左折のための道路改良、歩道橋の再点検、スクランブル化後の歩道橋の撤去を要望した。その他、皆さんからの声は要望へ加えたい。

問 横断歩道設置要望の対応状況はどうか。

答 大磯警察署は、横断歩道の新設に向けて、所定の手続きを進めている。

問 国府新宿地区の慢性的な渋滞の解決策は。
答 広域行政推進協議会、町村会を通じて西湘バイパスの無料化、減免等を要望している。



大磯駅入口交差点



柴崎茂

消防指令システムの合意は背任か

背任ではない

問 消防の指令システムを平成29年から稼働するため、大磯町は平塚市に今年度の当初予算で1億円強を支出した。平成24年12月議会で協議会の設置について議決しているが、その直前の11月26日に1市2町の費用分担が示された合意書を既に締結している。直後の12月議会ではこの費用分担は話題にもなっていない。大磯町・二宮町にとって、著しく不利益な費用負担だ。町民に背任をしている覚えはあるか。

町長 背任ではない。消防の出動は住民の要請に基づいているので、メリットがある。

答 それぞれ協議検討を行った上で、1市2町に費用負担も人口比によるべきだ。平塚市が人口25万6千人、大磯町が3万2千人、二宮町が2万8千人、全部で人口約32万人であり、大磯町は10%でいいのに17%払い続けている。二宮町は10%もいないのに、15%払い続ける。

また、その後の運用もよくない。全部で7名が指令室に常駐するが、大磯町・二宮町から各1名である。人の面では3割に近い人員を出さなければならぬ。

平塚市、大磯町及び二宮町における消防指令システムの共同運用等に関する合意書(要)

1 1市2町の長は、将来の消防の応急対応を考慮し、消防指令システムの高度化及び消防指令システムの効率化を図るため、消防指令システム(消防指令)及び消防指令システムの共同運用並びに消防指令システムの共同運用の実現を図ることに合意する。

2 1市2町の長は、消防指令システムを共同で管理し、及び執行するため、地方自治体(消防22年協定第67条)第2条第2項の規定に基づき協議会を設置する。

3 1市2町の長は、消防指令センターを平塚市消防本部に置く。

4 消防指令システム(消防指令)の高度化及び効率化に関する費用負担割合は、各町の町民数とする。

5 消防指令システム(消防指令)の共同運用、開発、保守等の費用は、それぞれの町が負担する。

6 消防指令システムの初期開発及び更新に関する費用負担割合は、結果の2分の1を人口比率により、残りの2分の1を単純総人口比率とするものとし、具体的な比率は、次に掲げるとおりとする。

(ロ) 消防指令システムの初期開発に関する費用負担割合 (人口比率、単純総人口比率を合わせたもの)

ア 平塚市 66.7% (45,198名) / 二宮町 22.4% (17,582名) / 大磯町 10.9% (8,314名)

イ 大磯町 17.4% (13,299名) / 二宮町 15.8% (12,282名) / 平塚市 66.8% (51,719名)

エ 大磯町 24.6% (18,977名) / 二宮町 22.4% (17,582名) / 平塚市 53.0% (40,741名)

7 消防指令システムに関する消防指令センターの費用負担割合は、人口比率とする。

8 消防指令システムに関する消防指令センターの費用負担割合は、人口比率とする。消防指令センターの設置が必要とされた年度以降の年度から決定する。

9 消防指令システムの共同運用は、消防指令、光ファイバー、無線機、通信機器、電気設備管理費、保守管理費、土地・建物使用に係る経費、工事費、備品購入費等とする。

10 大磯町及び二宮町は、協議会設置委員に係る経費を別に定めるところにより、平塚市に支出する。

11 消防指令システムの共同運用は、消防指令、光ファイバー、無線機、通信機器、電気設備管理費、保守管理費、土地・建物使用に係る経費、工事費、備品購入費等とする。

12 この合意書に定める以外の事項は協議が生じた事項については、1市2町の長が協議の上、決定するものとする。

この合意書は、平成24年(2012年)11月 日

平塚市消防本部 第1号	平塚市 町長
中郡大磯町 第18号	大磯町 町長
中郡二宮町 第9号	二宮町 町長

協定の議決より先に結ばれた合意書



二宮加寿子

電子母子手帳アプリを導入しては導入を検討する

問 電子母子手帳アプリは、乳幼児健診や予防接種日のスケジュール管理、お子さんの身長と体重のグラフ化、成長記録を家族間で共有できる。また、アプリの連携によってお薬情報を管理し、災害時でも役立つが、導入する考えは。

答 予防接種のスケジュール管理ができるなど、メリットもたくさんあるため、先行して導入した市の状況を確認し、本町の導入を検討する。

町の防災対策について

問 要援護者が必要とする補助犬の飼育環境は、身体障がい者の自立

答 命に関わる読書や体験を通して進めていく。

問 具体的にはどうか。

答 動物愛護の教育は、動物愛護の教育は、「いのち」あるものを育てることは、子どもの頃から大切なことと考える。

教育長 「いのち」あるものへの共感を育み動物愛護の教育に取り組んでいきたい。

神奈川県ママ/パパへ! 電子母子手帳

神奈川県が母子健康情報の電子化に取り組みます!

予防接種や子育て記録がスマホでカンタン便利に♪

無料! 無料!

カンタン! 無料!

母子健康手帳アプリ

https://www.mch.jp

母子健康手帳アプリ

恒道会の運営は改善されているか

県と連携している



鈴木京子

- 問** 空きベッド解消の道筋は依然見えてこないだけでなく、混乱はますます深まっているのでは。
- 町長** ベッドの稼働率は徐々に改善されている。
- 問** どのくらい改善されているのか。
- 答** 現在24だが、5月では25、6月で26だった。
- 問** 改善とは認めがたい。待機者数は。
- 答** 116名である。
- 問** 県の監査を受け、理事会自ら嚴重注意としたが、どう考えるか。
- 答** 6カ月間、法人が県に出向き報告していると県から聞いている。
- 問** 介護保険法では町も
- 県と同様、必要があれば調査できることになっている。就業規則で支払うべき夏のボーナスが支給されていないと聞く。4千700万円余の処遇改善加算が支払われているかなど、町も責任があると思う。指定の取り消しと違う。指定の取り消しと違う。利用者が家族の立場で進めてほしいが。
- 答** 県と連携して取り組んでいきたい。
- その他の質問**
- かたつむりの家の施設退去について
 - PTA会費流用
 - まちづくりの課題
 - 大磯学童保育所の拡充



就学支援の状況は

所得に応じ援助している



竹内恵美子

- 問** 厚労省データでは2014年子ども貧困率は16.3%で約6人に1人の子どもが貧困、ひとり親世帯の貧困率は7%であるが、本町の就学支援の状況は。
- 町長** 子育て世帯へ所得に応じ援助等をしている。
- 教育長** 平成27年度の就学援助の実績は小学校では全児童の6.3%。中学校では全生徒の7.8%である。
- 問** 就学制度の周知は。
- 答** 入学説明会や町のホームページで周知、前年度に認定された世帯には年度当初に申請書を渡している。
- 問** 就学援助費の申請・手続きは。
- 学期ごとの支給で、学校へ申請書が提出された後、教育委員会で認定条件の判定や調査を行い、就学援助費を支給する。
- 問** 学校と地域や福祉機関との連携は。
- 答** 平塚保健福祉事務所、平塚児童相談所、大磯町要保護児童対策地域協議会等と連携。県教育委員会から月3回ソーシャルワーカーが派遣される。
- 問** 貧困による教育格差の解消のためには。
- 答** 専門職や指導協力員の配置を目指す。
- その他の質問**
- はつらつサポーター事業



中学校給食は改善されるか

献立の工夫をしている



渡辺順子

問 中学校給食についての保護者や生徒からの意見にどう対応しているか。
教育長 味や見た目の改善、特に小学校のような給食を希望する意見が多く、小学校の栄養士や栄養教諭と連携して、献立の工夫をしている。量が足りないとも言われている。デリバリー方式の今後についての質問もあるが、まずは現在の給食をよりよいものになりたい。

問 味や見た目、献立などは小学校給食を参考に、すぐ改善できるのでは。

答 中学校で、あまりおいしくないとされる理由は温かさに問題があり、

工夫を続けている。
問 量が足りない生徒に補食の考えはあるか。
答 課題を整理して検討する。

問 栄養不足を補うために始めたのに、残す生徒が多ければ目的が果たせていない。業者との契約で、発注率が17%を下回らなければ、部分選択制も可能ではないか。

答 3年3カ月の契約のため、今は難しいが今後の参考にしたい。

その他の質問

○本町のエネルギー政策の展望は

○誠意が感じられない町の福祉政策について



学校給食のようす

全国から大磯町へ 議会活性化の視察が続々と 議会活性化を全国に発信

大磯町議会は、議会基本条例をはじめ、議会報告会や一般会議の開催、さらには議員提案による条例の制定など、積極的な議会改革に取り組んでいる。そのため、議会改革の先進地として、全国各地の議会議員の皆さまに、行政視察に来訪いただいている。

換が行われている。他議会の行政視察を受け入れることで得られる情報・知識も多い。今後も積極的に行政視察を受け入れていく考えである。

- 来訪いただいた議会
- 大阪府熊取町
 - 群馬県榛東村
 - 徳島県勝浦町
 - 鳥取県大山町
 - 鳥取県琴浦町
 - 愛知県阿久比町
 - 愛媛県内子町
 - 愛知県町村議会議長会

吉川議長が全国町村議会議長会で「わが町の議会活性化への取り組み」と題し講演を行ってからは、特に視察の申込みが殺到している状況である。平成28年4月以降、8つの議会が来庁しており、11月には2件の受け入れも決定している。

行政視察の対応については、毎回、議員が数名で行っており、議員同士、忌憚のない活発な意見交



鳥取県琴浦町議会を受け入れる

吉川議長、議会運営委員会奥津委員長、渡辺議員、清田議員

題字デザインが決定!

8月2日から17日まで
町役場1階ロビーに全応募作品を展示して、皆さまに選んでいただいた上位3点から、議会だより編集委員会で鈴木恵子さん(大磯町東小磯在住)の作品を新しい題字として決定しました。

雨上がりの9月22日、応募のきつかけなどについて伺いました。

湘南地方に住まいを探していた鈴木恵子さんは、3年前に東京から引っ越ししてこられました。

鈴木恵子さんは母親譲りで字を書くのが大好き。湘南ジャーナルで、大磯町議会だより編集委員会が、「読みやすい表紙の題字デザイン」を募集している事を知り、誰もが読める「ひらがな」が思い浮かび、応募されたそうです。今回、自分の題字が採用されたことについて大変驚き、嬉しく思っていますとのことでした。

春は小鳥のさえずりで目を覚まし、夏の夜、窓を開けると鈴虫の大合唱が聞こえる静かな環境に満足しているそうです。

「欲を言えば、もう少し活気が欲しい、ちょっとしゃれた木造平屋建てのお店で買いたい物ができれば・・・」と大磯町への希望を話されました。

投票総数は199票

おおいそ

大磯

大磯

上位3作品

議会だよりの表紙写真を募集



「議会だより」の懸案は「読んでいただける議会だより」です。題字募集に続き、皆さまから表紙を飾る写真を募集いたします。

テーマは「笑顔」(人物)

応募規定

規格・・・カラープリントL版または電子データ
(JPEG形式でファイルサイズ2MB程度)

応募資格・・・町内に在住・在勤・在学等、大磯町に縁のある方

応募方法

「議会だより表紙写真応募用紙」に必要事項を記入し、USBフラッシュドライブ等の外部記憶媒体や現像写真を直接持参するか、郵送、または電子メールでご応募ください。

※「議会だより表紙写真応募用紙」は議会事務局で配布のほか、ホームページからもダウンロードできます。

応募期間

- 平成29年1月27日発行号・・・平成28年12月22日までの受付
- 平成29年4月27日発行号・・・平成29年3月24日までの受付
- 平成29年7月27日発行号・・・平成29年6月23日までの受付

選考・採用

写真の選考は、議会だより編集委員会で行い、採用者に連絡します。

応募先・問い合わせ 大磯町議会事務局

応募上の注意

- 応募は1号につき1人1点までとします。
- 組み写真、合成写真は不可とします。
- 被写体ご本人、未成年者の場合は保護者の承諾を得て応募してください。
- 応募写真に関する著作権、肖像権に関する責任は全て応募者に帰属するものとします。
- 応募写真は、無償で大磯町議会が使用することに許諾したものとします。
- 編集上、トリミングを行う場合があります。
- 応募後の辞退はできません。また、採用・非採用に関わらず応募写真は返却できません。

表紙のテーマは 笑顔

議会だより編集委員会では、今号からの表紙のテーマを「笑顔」と決定し、4回シリーズでお届けします。

第1回は大磯幼稚園の運動会で3歳児が躍った「スマイルダンス」のスナップ写真です。

撮影のためお邪魔した大磯幼稚園と国府幼稚園の運動会では、4家族の方から「笑顔」をいただきました。ご協力いただき、ありがとうございます。



議会報告会へ ぜひご参加ください

決算報告の他、少人数に分かれて意見交換も行います。ぜひ、皆さんの声をお聞かせください。

11月13日(日)

10:00~11:30 国府支所 2階会議室

15:00~16:30 保健センター 2階研修室



当日はこの「議会だより」をお持ちください

12月定例会

11月29日(火) 議案上程等

12月7日(水) 一般質問

8日(木) 一般質問

13日(火) 委員長報告等

湘南ケーブルテレビにて放送されます。

生放送は9時~

再放送は19時~

放送チャンネルが変更になりました。**SCN101** チャンネルにて放送

議会スナップ



9月28日 リサイクルセンター起工式で



議会だより編集委員会での編集作業

【編集後記】

今号から、より分かりやすい紙面作りのため、議会広報コンクール上位者を参考に題字、割り付けなど大幅に変更しました。

題字の募集に際しましてはたくさんの方々より作品や貴重なご意見をいただきましたこと、編集委員一同、心から感謝いたします。

今号の編集集中に、大磯町在住の大隅良典さんがノーベル生理学・医学賞を受賞されたニュースが入ってきました。誠にめでとございます。

【発行責任者】

議長 吉川 重雄

【議会だより編集委員会】

委員長 渡辺 順子

副委員長 清田 文雄

委員 竹内恵美子

二宮加寿子

玉虫志保実

高橋 英俊

【オブザーバー】

副議長 坂田よう子